

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.35

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その35 [2012年12月9日]

12月9日は35回目の活動日であった。11月の2度の活動日には、自塾の仕事と重なり参加出来なかったのが、私にとっては一月ぶりの石巻である。前回の集会では「すっかり秋めいてきました・・・」と挨拶の口火をきいたのだが、一月ぶりのこの日はなんと雪景色であった。



仮設住宅の背後の山はうっすらと雪化粧。

いつも昼食をとっている石

巻駅前の食堂「大もりや」の女将さんが「季節の移り変わりが速くなって、今日はもうこの雪です」とおっしゃっていたが、受講生の皆さんも同様な感想をお持ちのようであった。折から衆議院選挙の真っただ中、選挙カーが候補者名を連呼しながら、路肩に残る雪を蹴散らし仮設住宅団地の中を駆け抜けてゆく。この地の、この年の、この時ならではの風景であった。

さて、今回仙台から合流したスタッフは東北大の小野、雨宮の両君である。彼らもすでに5回を超える活動を経験しており、まことにたのしい存在となっている。ひさびさにレンタカーを走らせ、仙台東部道路から三陸自動車道を進む。11時前に石巻に入り、3ヶ月ぶりに門脇小学校を訪問する。津波被害甚大の門脇・南浜地区はすっかり雪景色である。今や雪原と化した寒々とした光景が石巻湾まで続いている。報道等でおなじみになっている「がんばろう！石巻」の大看板に立ち寄り、和枝先生をはさんで左右に雨宮、小野の両君。



和枝先生をはさんで左右に雨宮、小野の両君。

る。和枝さんが年賀状でここのショットを使いたいとの意向で、写真を撮ることとなった。折から雪もちらついてきた。さすがにこの天気では訪れる人も少ない。

午後12時40分、仮設開成ささえあいセンターの集会所に入る。会場は6台のエアコンがフル回転で適温に温められていた。我々が利用することを配慮して、事前に暖房をいれていたように感じた。ここで石巻の佐久間先生も加わって、パテーションとテーブルを配置し英検教室2つと漢検教室1つを作る。各自手慣れたもので作業に滞りがない。

午後1時20分過ぎ、英検4級組の授業がスタートする。この日から、漢検2級合格で漢検講座を卒業したAさんが新たに加わる。午後2時、残りの受講生がそろい35回目のスクーリングが始まった。講習生23名に支援スタッフ5名というのがこの日の陣容である。



漢検教室の風景、仕切りの奥は英検4級教室。

午後2時30分、全体集会を開く。スタッフの挨拶と紹介を済ませると、この日は特別なプログラムはない。そこで、四国は愛媛から届いた歳末のプレゼントを紹介し差し上げることとした。谷村の実家がミカン農家なので、今年も愛媛ミカン2箱が会場に送られてきたのだ。9日午前の時間指定で会場に着くようお願いしていた。ところが7日に東北地方で震度5相当の地震があり、交通の乱れが懸念されていた。それが無事届いたのである。つい先日収穫したばかりのミカンが、1,300kmの距離を超えて届けられ、石巻の皆さんに味わっていただくことができる。ミカン農家の出身者としては、これはこれで感慨深いものである。お一人当たり10個程度の配分だが、採れたて新鮮で味は太鼓判の自慢の愛媛ミカンである。皆さんにご満足いただければ、生産者の兄夫婦も喜ぶことであろう。

皆さんに愛媛みかんをお配りし、お土産とする。

報告：谷村志厚



皆さんに愛媛みかんをお配りし、お土産とする。

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日
第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日
第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日

①スクーリング（漢検・英検学習）

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日、2013年1月13日、26日

②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所

③検定受検（第Ⅲ期）

平成24年度第2回英語2012年10月13日

平成24年度第2回漢字2012年11月10日

④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

英検3級講座に新メンバー加わる

午後1時22分、定刻より2分遅れて、英検4級講座が始まった。1年9カ月前の3月11日に、自宅が全壊又は全壊流失して有形の所有物を一気に失った4人の中学生に、「自宅は大規模半壊で済んだ」と語る還暦を迎えたばかりの女性が加わって5人のメンバーとなった受講生は、助動詞canの用法と命令文を学習した。謙虚に学びなおそうとする姿勢が貫かれているこの女性の参加によって、新たな風が4級講座に吹いてきた。指導をする私(谷村和枝)にとっては2回目となる受講生間の年齢差は、今回もまた、マイナスではなくプラスの作用として働いていた。70分間の授業は和やかに、そして、あっという間に終わった。



全体集会をはさんで午後2時50分から、高校入試に向けた受験英語の講座が始まった。今回が2回目となるこの講座は、学校行事への参加で1人の欠席者がいた為、本日は2人の受講生が参加をした。「英語だけが点数をとれない」と言うEさんと、「英語で点数を稼がないとダメ」と言うSさんの2人である。2週間に1回の頻度で行われる出前寺子屋のスクーリングだけで、高校受験に対応する支援ができるのか心もとないが、考えて、考えて、知恵を絞ってやっていくしかない、帰りの新幹線で私は腹を括った。石巻に初雪が降った。雪が降る寒い季節は受験のシーズンでもある。受検へのロング・ラスト・スパートが始まる次回の出前寺子屋は、12月23日に開催される。

報告：谷村和枝

過去3回の漢字検定実績・58名受検中合格者52名

2級-13名、準2級-14名、3級-12名、4級-4名、5級-4名、6級-3名、7級-2名（小中学生16名、一般36名）

英語検定実績・12名受検中合格者11名

準2級-1名、3級-3名（準2・3級とも1.2次完全合格者）
4級-4名、5級-3名（小中高生8名、一般3名）

ご支援ありがとうございます

当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただき皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

主管: AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)
後援: 全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)
支援: 日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)